

八王子市議会レポート

54 2012年1月7日



つくる、つくろう通信

陣内やすこ

八王子市議会議員・無所属市民派
中心市街地対策特別委員会委員長

北野台在住



編集 / 発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL **042-636-8158** FAX **042-636-8640**

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>



2012年 頌春



希望のもてる年でありますように！

3・11東日本大震災から約10ヶ月。まだまだ先の見えない中、政府は「事故収束」を12月16日に宣言しました。とんでもないことです。事故を過小評価することなく、脱原発に向けて、「いのちを守る」政治への転換にがんばっていきます。

八王子市も12年続いた黒須市政・継承にストップをかけ、開発でなく、環境を守り、福祉と教育を大切にする市政へと舵きりをしなければなりません。力をつなげていきましょう。高齢者の安心は、働くものの生活安定があって、成り立ちます。

選挙にいこう 市長選があります。

これからの未来を人任せにしないで、責任を持って選んでいこう。変わらないのではなく、変えられるのです。政治とは、私たち一人一人の生活です。

1月15日 告示
1月22日 投票

1月23日 開票

2011年 この1年

3・11

東日本大震災そして東京電力福島第一原子力発電所爆発事故は、未曾有の災害をもたらしました。そして、原発事故はいまだ収束をみず、現在も懸命の修復作業が続けられています。この震災の復旧・復興が困難を極めているのは、原子力発電所の爆発による放射能汚染です。海、空、大地、森に放射能は降り注ぎ、その範囲は、広く日本全土にわたっていることが次第に明らかになってきています。今回の震災をとおして、この国は、誰を守ろうとしているのか、ということが明白になったと思います。

情報は国民に隠され、福島の子どもたちは、高い放射能線量の地に留め置かれています。いのちを守る！そのことがおろそかにされているのです。

私になにができるのか、私たちになにができるのか、ともに考え、つながりあい、支えあっていくことで、この困難を乗り越えていかなければなりません。一人一人の生き方が問われているともいえます。

災害復興支援、いのちを守る取り組みに女性の力が必要です。

放射能対策どうなっているの？

6月、9月、そして12月の議会で、市の放射能対策を多くの方々とともに、求めてきました。それは、教育施設等391カ所の空間測定の実施と除染ガイドラインの策定という実を結びました。測定方法や測定箇所などの問題はあるとはいえ、一歩が踏み出されたといえます。しかし、食の安全については、遅々として進んでいません。文部科学省でさえ、学校給食への不安に対して、弁当や水筒持参に配慮を、と通知しているのですが、市教育委員会は、給食の放射能測定をすることもなく、「食べていただきたい」という姿勢をかたくなに堅持しています。なにをもって安全・安心というのでしょうか。これからも学校給食の測定、ならびに八王子産野菜などの検査体制を求めていきます。

コメから基準値以上のセシウムが検出され、また、粉ミルクや学校給食牛乳からも微量とはいえ、セシウムが検出されています。暫定基準値の見直しも不安解消には至りません。一番身近で、市民の不安の声が届く市がそっぽを向くことは許されません。

放射能は除染してもなくなりません。水で洗ってもなくなりません。燃やしてもなくなりません。これから長くかかる放射能との闘いです。

八王子市民放射能測定室がオープン(1/30～)
市民による市民のための測定室です。
HP▶<http://hachisoku.org>
..*.*.* 会員募集中です *.*.*.*.*

議会基本条例策定 準備会スタート!

昨年からの引き続きとして、今までの議論をベースに、議会基本条例を策定すべく、作業に取り掛かっています。委員として、市民に開かれた議会、公正透明な議会運営の基本作りに力をつくります。政治倫理条例の見直しも必要です。議員の親族が関係する自主学童保育所の補助金不正受給が発覚しました。

活動 フォトショップ



被災地いわき市を訪れました。その悲惨な状況に涙。事務所でも義援金募金、がんばりました。



3期目当選できました。応援メッセージもたくさんいただきました。



小中一貫校での温かい給食。やっぱりこれなくては。

自然エネルギーへの転換を急げ！

原子力発電がクリーンで、安全で安価なエネルギーであるという神話は崩れ去りました。それどころか、人間の手に負えないものであることも福島原発事故で痛いほどわかったはずですが。いったん暴走すれば、人間の力ではどうにも制御できないものであり、暴走しないということは、誰もいえないのです。

今の日本の原発依存体質は、安全だからではなく、そこに利権があるからつくられたといえます。環境エネルギー政策研究所の飯田哲也さんは、原発脱却のシ

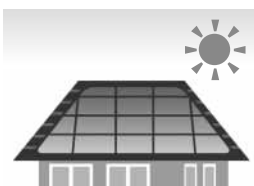
ナリオを描きます。格差の上に成り立っている原子力推進と決別しましょう。こう言うと、『それでは、30年前の生活にもどれるのか。経済が停滞する』との声が聞こえます。でも、本当にそうでしょうか。私たちは、知恵と技術革新で、この困難を乗り越えられると信じます。また、乗り越えなければならないのです。

市民生活を圧迫する節電ではなく、生活の見直しの中で電気とのつきあい方を変えていきましょう。自動販売機、多すぎますね。

電気の供給は東京電力だけでない、PPS事業を推進させる

6月の議会で質問したときは、立川市など先行例はわずかでしたが、あっという間に広がってきています。八王子でも、やっと少し試行的にとりいれるという方針が示されました。CO₂排出との関係で、クリーンなエネルギーを地産地消でつくっていく必要があります。

八王子の可能性として、太陽光エネルギーの普及拡大と地形と川を利用した小水力発電の検討です。専門検討部署が必要です。



介護保険だけでは安心できない、高齢者の暮らし

八王子市の高齢化率は21%となり、超高齢社会に突入です。その一方で、少子化が進んでいます。高齢者の安心は、子どもを産み育てる若者世代が安心できる社会でなければ維持できません。2025年の団塊世代が後期高齢者になるときまでに、しっかりとした地域での介護の仕組みを作っていかなければなりません。第5期介護事業計画が策定されようとしています。声を出していきましょう。医療と介護、住宅問題が重要です。そして、そこに雇用を作り出せる仕掛けをつくろう。ベッドの増床によって、特養の待機者削減が多少図られたとしても、根本的な解決策ではありません。

退院後の生活を支える仕組みづくりがこれからの大きな課題です。

中心市街地活性化は正念場です

そごうの撤退、JR貨物の用地を医療法人が賃貸借契約、南北バス路線の廃止などなど、昨年秋の南口まちびらきがあったにもかかわらず、駅周辺の求心力が弱まっています。中心市街地活性化特別委員会の委員長を2年間させていただくことになりました。駅周辺

が元気になるような調査研究をしていきます。回遊性のあるまち、歩いて楽しい街をテーマに、すすめていきます。ユーロードの2つの横断歩道がフリーになるといいな。ストリートカフェはどうなったのかしら。



環境問題視察、ひまわりプラントへ。

▶9・11原発テモに6万人。



◀いろいろな自治体の女性議員で視察です。



放射能の影響がここここに。測定会に参加しました。



◀石巻市を訪問。仮設住宅は夏暑く、冬寒い。

陣内やすこの市政報告

賛成 障害がある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例

* 障がい当事者の方々の長きにわたっての運動と働きかけが形になりました。

しかし、教育の条文がパブコメ素案より後退しています。教育の場でのインクルーシブの推進が心のバリアーを取り除く一歩につながります。当事者の自己決定を尊重するよう、3年後の見直しで要検討です。

2011年8月改正施行された障害者基本法でさえ、インクルーシブ教育の方向性を示しています。

16条 障害者基本法 (中略) 可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならない。

2012年

第1回定例会議会日程
(2月、3月)

2月6日～9日	特別委員会
2月22日	議会招集告示
23日	請願締め切り
2月29日	本会議
3月1日	本会議
2日	総務企画・厚生委員会
5日	文教経済・都市環境委員会
7日	本会議
8日	本会議
9日～14日	予算特別委員会
15日～21日	予算特別委員会分科会
26日	予算特別委員会
28日	本会議
29日	一般質問

* 太字はインターネット中継があります

12月議会での重要議案

反対 市街地調整区域の保全に向けての適正な土地利用に関する条例

* 市街地調整区域は適切な土地利用を図るところなのかと疑問です。市街地のスプロール化を防ぐためのものではなく、市街地調整区域の土地利用基本方針そのものに大きな疑義があります。みどり保全のための条例なら、しっかりと場所を特定すべき。サバイバルゲーム場問題、産業廃棄物施設設置問題等で市街地調整区域が狙われていることから、はっきりとみどり保全の方針を明確にすべきです。

新年会のお誘い

1月23日(月) 12時より

場所 エール・メール・テール
(八王子市絹ヶ丘2丁目)

費用 1,500円(飲み物別)



新年をむかえて、わいわい
にぎやかにおしゃべりをしましょう

参加希望者は、1月12日までに申し込みください

申し込み先：042 636 8158
090 4125 9259

キリトリ線

アンケートのお願い

市政等について、こうしてほしいこと、疑問に思うことなど、皆さんのお声をお聞かせください。

FAX ▶ 042・636・8640

Mail ▶ jinnaiya@mbk.nifty.com

よろしければご記入下さい

お名前		住所		連絡先	
-----	--	----	--	-----	--